

## 〔18年4月号月報の概要〕

### 1 市場動向の概要随時

#### (1) 野菜

##### 2・3月の実績

・2月の全体の入荷量・価格とも前年並。3月上中旬は、入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回った。

・3月に価格が前年より高かった品目：だいこん、トマト、きゅうり、なましいたけ、なめこなど

##### 4月の見通し

・入荷量は全般に前年をやや上回り、ほうれんそう、ねぎ、きゅうりなどは価格が前年を上回る見込み。

#### (2) 果実

##### 2・3月の実績

・2月の全体の入荷量は前年並、価格は前年を下回った。3月上旬の入荷量は前年並、中旬の入荷量は前年をやや上回った。価格は前年比1割減で推移。

・3月に価格が前年より高かった品目：メロン類、すいか類

##### 4月の見通し

・かんきつ類、いちご類、りんご類が中心に出回る。

・入荷量は、かんきつ類は前年を下回るが、いちご類は前年を上回る。価格は全般に前年を下回る見込み。

#### (3) 花き

##### (3月入荷状況)

・3月上中旬は、低温と曇天により入荷遅れが目立ち、卒業式、ブライダル、彼岸需要が続き、引きが強く堅調に推移した。下旬以降は気温も上昇し入荷量が増加してきたことから、比較的安定した取引となった

##### (4月見込み)

・上旬は、カーネーションやバラなど洋花で入学式等の需要が見込まれるものの、一般的に大きな業務需要もなく、やや弱めの相場展開が見込まれる。

### 2 輸入青果物の品目別累計速報

・18年1月の入荷実績は、生鮮野菜では数量ベースで前年比108%、金額ベースで126%。生鮮果実では数量ベースで前年比98%、金額ベースで94%となっている。

### 3 消費地からのホットニュース、トピック

(1) 生鮮野菜の輸出量初の100万トン台乗せへ

(2) 外食における原産地表示ガイドライン(概要)

(3) 実需者に対する売り込みシート(商品カルテ)の作り方

(4) おいしい山形をめぐる園芸農産物の最近5年間実績

(5) 県産主要果実の今後の課題